



杉本博司《月下紅白梅園》(左隻) 2014年 © Hiroshi Sugimoto



杉本博司《月下紅白梅園》(右隻) 2014年 © Hiroshi Sugimoto

本歌取り 日本文化の伝承と飛翔

この展覧会は、大人になってからの大半の時間を海外で過ごした私が、日本文化とは何かを咀嚼していく過程の中で辿り着いた、私の現代美術作家としての方法論を駆使して組み立てられた。

西洋において、真似ることは「墮落」であった。日本において、真似ることは「昇華」であった。和歌の伝統手法である「本歌取り」は、いにしえに詠まれた歌の心の一部を借り受けて、今の世の心のありさまを接木するという「うたよみ」の作法であった。真新しい時代精神は、古き良き時代を否定することなく、昇華して、新しい時代へとその魂を引き継ぐのだ。

私はその作法は、和歌だけではなく、茶や花、香り(香道)やかたち(建築)にまで連綿と受け継がれてきたのだと近頃思う。いわば「本歌取り」は日本文化の通奏低音なのだ。

私は現代美術作家として、その作法を受け継ぎたいと思う。 ————— 杉本博司

HIROSHI SUGIMOTO HONKADORI

2022年9月17日|土|–11月6日|日|

前期: 2022年9月17日(土)–10月10日(月・祝) 後期: 2022年10月12日(水)–11月6日(日)

休館日: 月曜日(ただし9月19日、10月10日は開館)、9月20日(火)、10月11日(火)

開館時間: 10:00–17:00 (入場は16:30まで)

観覧料: 一般1200(1000)円 大学・高校生 600(400)円 中学・小学生 200(100)円 ※()内は20人以上の団体料金

主催: 姫路市立美術館、書寫山圓教寺

協力: 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史学研究室、兵庫県立歴史博物館、

公益財団法人小田原文化財団、ギャラリー小柳、新素材研究所、杉本スタジオ

後援: 朝日新聞姫路支局、神戸新聞社、産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西 ※50音順

姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art

日本文化の伝承と飛翔
杉本博司
本歌取り

HIROSHI SUGIMOTO

HONKADORI

本歌取り

杉本博司

日本文化の伝承と飛翔



1



2

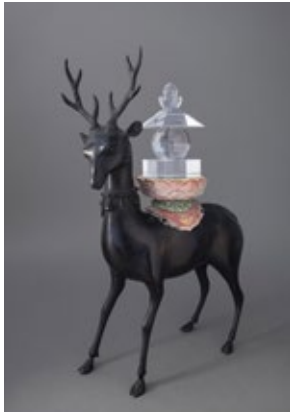
- 1 杉本博司《天橋立図屏風》2022年 © Hiroshi Sugimoto
- 2 重要文化財 伝 能阿弥《三保松原図》室町時代(15世紀) 兵庫県立美術館 額川コレクション
- 3 杉本博司《カリフォルニア・コンドル》1994年 © Hiroshi Sugimoto
- 4 伝 牧谿《松樹叭々鳥図》室町時代(15～16世紀) 藤田美術館
- 5 《春日神鹿像》室町時代 海景五輪塔: 杉本博司 鞍、蓮台補作: 須田悦弘 小田原文化財団
- 6 重要文化財《金銅春日神鹿御正体》南北朝時代(14世紀) 細見美術館
- ※ 2,4,6の作品は前期のみの展示となります。



3



4



5



6

関連イベント

参加費: 無料 ※但し1,2,3,4,7,8は「杉本博司 本歌取り」の当日観覧券の提示が必要(半券可)。 ※イベントの最新情報、申し込み方法は姫路市立美術館公式HPイベントページでご確認ください。

1 杉本博司×千宗屋「杉本博司 本歌取り」オープニングトーク

登壇者: 千宗屋氏(武者小路千家家元後嗣)、杉本博司氏(本展出品作家)

日時: 9月17日(土) 14:00–15:30(入場は13:30から)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂

参加申込方法: 姫路市立美術館のHPから9月10日(土)までに申し込み

定員: 50名(参加申込多数の場合は抽選)

2 講演: 書寫山圓教寺の仏教美術 ―阿弥陀如来坐像を中心に―

講師: 奥健夫氏(文化庁文化財鑑査官)

日時: 9月24日(土) 14:00–15:30(入場は13:30から)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂

参加申込方法: 姫路市立美術館のHPから9月17日(土)までに申し込み

定員: 50名(参加申込多数の場合は抽選)

3 講演: 書寫山圓教寺の仏教美術 ―性空上人坐像を中心に―

講師: 神戸佳文氏(兵庫県立歴史博物館学芸員)

日時: 10月22日(土) 14:00–15:30(入場は13:30から)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂

参加申込方法: 姫路市立美術館のHPから10月15日(土)までに申し込み

定員: 50名(参加申込多数の場合は抽選)

4 講演: 圓教寺常行堂仏後壁の《二十五菩薩來迎図》をめぐる

講師: 増記隆介氏(東京大学准教授)

日時: 10月29日(土) 14:00–15:30(入場は13:30から)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂

参加申込方法: 美術館のHPから10月22日(土)までに申し込み

定員: 50名(参加申込多数の場合は抽選)

5 田中浪パフォーマンスイベント(仮)

出演者: 田中浪氏

日時: 9月19日(月・祝)

場所: 書寫山圓教寺常行堂

参加費: 無料 ※但し「圓教寺×杉本博司 能クライマックス ―翁 神 男 女 狂鬼」の当日観覧券の提示が必要(半券可)。

※詳細は決まり次第美術館HPにてお知らせいたします。

6 杉本博司映像作品《Noh Climax》上映会

日時: 決定次第、当館HPでお知らせいたします。

場所: 姫路市立美術館 2階講堂

席数: 50席

参加申し込み不要、先着順

7 展示解説会

講師: 姫路市立美術館学芸員

日時: 10月8日(土) 14:00–15:30(入場は13:30から)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂、企画展示室

参加申込方法: 美術館のHPから10月1日(土)までに申し込み

定員: 50名(参加申込多数の場合は抽選)

8 子ども鑑賞会

内容: 小学生以下を対象とした当館学芸員によるギャラリーツアーと、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行います

日時: 10月15日(土)

午前の部11:00–11:40 午後の部 14:00–14:40(それぞれ30分前より入場可能)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂、企画展示室(集合場所は2階講堂)

参加申込方法: 美術館のHPから10月8日(土)までに申し込み

定員: 各回20組(参加申込多数の場合は抽選)

対象: 小学生以下(必ず保護者同伴)

※中学生以上も参加可能。応募者多数の場合は小学生以下の方を優先とさせていただきます。

9 友の会会員対象解説会「本歌と本歌取り」

講師: 姫路市立美術館学芸員

日時: 9月24日(土) 11:00–12:00(入場は10:30から)

場所: 姫路市立美術館 2階講堂、企画展示室

参加申込方法: 美術館のHPから9月17日(土)までに申し込み

対象: 姫路市立美術館友の会 会員限定

杉本博司はかつて、自身の作家活動の原点とも言える写真技法を和歌の伝統技法である本歌取りと比較し、「本歌取り論」を展開した。この中で杉本は、日本文化の伝統は旧世代の時代精神を本歌取りすること、つまり古い時代の感性や精神を受け継ぎつつ、そこに新たな感性を加えることで育まれてきたものであらうと述べている。更には、日本だけでなく世界中の文化に本歌を求め、自身の創作においても本歌取りを試みている。

杉本は本展で、自身の表現領域の拡大に伴い、写真技法のみに留まらない更なる「本歌取り論」の展開を試みる。時間の性質や人間の知覚、意識の起源といった杉本が長年追求してきたテーマを内包しながら、千利休の「見立て」やマルセル・デュシャンの「レディメイド」を参照しつつ独自の解釈を加え、新たな本歌取りの世界を構築する。

この新たな本歌取りを表現すべく、初公開となる屏風仕立ての写真作品《天橋立図屏風》とその発想の源泉となった額川美術館旧蔵の《三保松原図》(兵庫県立美術館蔵)や、春日大社に関わりのある《金銅春日神鹿御正体》(細見美術館蔵)とそれを本歌とした《春日神鹿像》など、杉本作品と共に、その本歌となった様々な作品が展示される。

また、尾形光琳の《紅白梅図屏風》を本歌とする《月下紅白梅図》や、代名詞ともいえる大判の写真作品をはじめとする杉本の代表作に加えて、姫路城を撮影して屏風に仕立てた《姫路城図》、書寫山圓教寺所蔵の《性空上人坐像》を本歌とした写真作品《性空上人坐像》といった姫路の文化財に触発されて生まれた新作を通して、杉本作品の底流に常に存在してきた本歌取りの概念を紐解く。

同時開催

〈コレクションギャラリー〉

「新収蔵品を中心に」

9月10日(土)–11月6日(日)

〈國富奎三コレクション室(常設展示)〉

國富奎三コレクション「フランス近代絵画 モネからマティスまで」

〈美術館前庭〉

「中谷美二子《霧の彫刻＃47769 白鷺が飛ぶ》」

7月16日(土)–2023年3月12日(日)

〈書寫山圓教寺常行堂〉

「圓教寺×杉本博司 能クライマックス―翁 神 男 女 狂鬼」

9月17日(土)–12月4日(日)

その他のご案内

特別展「没後10年 西山松之助展 ある文人歴史家と江戸学の軌跡」

9月23日(金・祝)–12月4日(日)

姫路文学館 Tel 079-293-8228

特別展「2022年播磨工芸美術展」

9月3日(土)–10月23日(日)

秋季特別展「はしもとみお木彫展〜カクチの生まれるところ」

10月28日(金)–12月24日(土)

姫路市書写の里・美術工芸館 Tel 079-267-0301

交通のご案内

JR・山陽電車姫路駅より神姫バス⑦⑧乗り場から [3][4][5][61][62][64][81][82][84][86] 乗車約8分、「姫山公園南・医療センター・美術館前」下車すぐ。

姫路駅より徒歩約20分(姫路城東となり)

※上記路線バスのほか、姫路城ループバスも停車します(停留所は「美術館前」)。

※美術館には駐車場がありませんので近隣の駐車場(有料)をご利用ください。



姫路市立美術館

Himeji City Museum of Art

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25

TEL 079-222-2288

https://www.city.himeji.lg.jp/art/

最新の情報は姫路市立美術館公式ホームページにてご確認ください。